

東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
ひがしふれあい文化祭		東区ふれあい事業実行委員会			
事業目的	事業効果	活動指標	R4	R5	R6
区民が文化・芸術に触れる機会を創出し、区民間のコミュニティの輪を広げ、「人・世代がつながる住み続けたいまち」の推進の一助とする。文化の振興・発展と豊かな市民生活を醸成し、区民の親睦・連帯の推進を図る。	・区民の文化活動の活性化や文化意識の向上 ・区民間のコミュニティの輪の醸成 ・区民の親睦・連帯の推進 ・明るく住みよい安全なまちづくりの推進	作品展出展応募数	74点	93点	111点
		来場者数	2310人	2362人	2996人
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
◎ 区民が芸術・文化を気軽に体験・発表する機会を提供し、活動を支援することで、区民間の親睦、連帯が深まり、活気ある地域社会の形成に寄与しており、妥当性が高い事業である。	◎ 文化祭の準備段階から、実行委員会で協議し、当日においても地域の方と運営・実施していることから、協働の度合いが高い事業である。	◎ 一般作品展だけではなく、著名な芸術家の作品展示や、全国大会にも出場している区内高校の吹奏楽部・ダンス部によるステージなど、区内のみならず、区域外、市外にも文化的活動を広報し、多くの方を引きつけるインパクトのある事業といえる。	○ 企画は実行委員による提案から検討し、出演団体との調整や広報は行政が行い、当日の運営は地域と行政が運営するなど、企画、調整、運営の役割分担が明確であり、効率的であるといえる。		
⑤自立発展性	総合評価				
△ 作品展展出展応募数が増加していることや、アンケートで満足と答えた方が90%以上であったことから、愛着を持っているものと考えられるが、絵画展にかかる小学校との調整やパンフレットの制作など、一部の事務については行政において担うことが適当であり、協働によることが望ましい。	○ 著名な芸術家や、区内で活動している団体の作品展示など、区民が文化・芸術に触れる機会を創出できた。また、文化的活動を発表する機会を提供することで、区民の文化活動を支援し、交流の場を設けることで、区民相互の親睦・連帯を推進することができた。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	来場者数が一定の水準で推移していることから、当該事業が区民の文化的活動の発表の場として認知されていると判断する。引き続き、区民の親睦・連帯の推進を図る事業として、実行委員や地域と連携し、魅力ある企画となるようすすめる。				